

理科シラバス（第2学年）

指導の方針

○基礎的・基本的な知識及び技能の習得をめざして

- ・ 安全・正確に観察・実験を行う技能を身につけさせます。
- ・ ねらいを明確にした授業を行い、基礎・基本を身につけさせます。

○思考力・判断力・表現力その他の能力の育成をめざして

- ・ 観察・実験の結果、記録などを、筋みちを立てて考察し、自分の考えをまとめ、他者の意見を取り入れ、深化させる学習活動を展開します。

○学習意欲の向上や学習習慣の確立をめざして

- ・ 日常生活での事象や体験を意識した導入を行い学習意欲を向上させます。
- ・ 基礎・基本の確実な定着のために、小テスト、プリント、問題集等を活用します。

評価の観点と評価の資料

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の資料	実験の技能 レポート 技能テスト 定期テスト	レポート 定期テスト 等	学習への態度・姿勢 ポートフォリオ レポート・ノート 提出物 忘れ物 等

評価と評定の関連

○各教科の評定（5段階）は、各観点の評価（A〇＝5点、A＝4点、B＝3点、C〇＝2点、C＝1点）をもとに算出します。評価と評定の関連は、下表のとおりです。

【知識・技能】	A 80%以上	B 50%以上	C 50%未満
【思考・判断・表現】	A 80%以上	B 50%以上	C 50%未満
【主体的に学習に取り組む態度】	A 80%以上	B 50%以上	C 50%未満

3観点の合計（例）

三観点の組み合わせ	合計点数	三観点の組み合わせ	合計点数	三観点の組み合わせ	合計点数	評定
A〇A〇A〇	15点	A〇A〇A	14点			5
A〇AA	13点	AAA	12点	A〇BB	11点	4
ABB	10点	BBB	9点	BBC〇	8点	3
BC〇C〇	7点	C〇C〇C〇	6点	C〇C〇C	5点	2
C〇CC	4点	CCC	3点			1

学習内容と学習のねらい

月	学習内容	学習のねらい	
4	1 化学変化と原子・分子	<ul style="list-style-type: none"> ・化学変化について観察・実験を通して、分解・化合などにおける物質の変化やその量的な関係について理解する。 ・化学変化にともなった事物・現象を原子、分子のモデルと関連づけて見る見方や変え方を理解する。 	
5	① 化学変化と物質の成り立ち		
6	② いろいろな化学変化 ③ 化学変化と物質の質量		
7	2 生物の体のつくりとはたらき	<ul style="list-style-type: none"> ・観察を通して、生物の体は細胞からできていることを理解する。 ・観察・実験を通して、植物の体のつくりとはたらきを理解する。 ・観察・実験を通して、動物の体のつくりとはたらきを理解する。 	
8			① 生物の細胞と個体
9			② 植物の体のつくりとはたらき
10			③ 動物の体のつくりとはたらき
11	4 電気の世界	<ul style="list-style-type: none"> ・電流回路についての観察・実験を通して、電流と電圧との関係および電流のはたらきについて理解する。 ・日常生活や社会と関連づけて電流と磁界についての初歩的な見方や考え方を養う。 ・観察・実験を通して、静電気や電子の性質について理解する。 ・放射線の人体への影響などについて理解する。 	
12	① 電流と電圧		
1	② 電流と磁界 ③ 静電気と電流		
2	3 気象とその変化	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な気象の観察・実験・観測を通して、気象要素と天気の変化の関係を見いだす。 ・気象現象が起こるしくみと規則性についての認識を深める。 	
3	① 気象の観測		
	② 空気中の水の変化		
	③ 低気圧と天気の変化		
3	④ 日本の気象		
	⑤ 大気の躍動と恵み		